

屋久島生態系モニタリング

国割岳西斜面の植生の垂直分布 標高400m地点

プロットは、北西から西向きの急斜面（20～45度）で、基点から北北東の方向に設定。標高300m地点ではヤクタネゴヨウの出現もあったが、この地点ではほとんど見られない。海岸性の樹木は少なくなつて、暖帯林の様相が濃くなっている。

- プロット内出現種
- 胸高直径1cm以上—31種
 - 林床木本—20種
 - 林床草本—18種
- 優占種：イスノキ・タイミンタチバナ群落
 イスノキ・スダジイの大径木や古木が多く見られる。数量的にはタイミンタチバナの出現数が圧倒的に多い。
- 標徴種：ヤクタネゴヨウ
 プロット内には見られないが、付近は本種の主たる生育適地である。
- 藓苔類
 乾燥した樹林帯で低標高のため藓苔類は少ない。林床にホソバオキナゴケ、沢でゼニゴケを確認した。

治山関係業務では、治山ダム施工確認と保安林業務事務に従事してもらいました。工事現場で計画どおりに治山ダムが施工されているか測量器具等を使用して計測を行いました。また、測量器械に初めて触った人達が多かつたにもかかわらず、すぐにコツを掴み、巧みに器械操作して、項目毎のチェックを行い、ダムが設計どおり施工されていることを確認しました。保安林業務ではパソコンを使用してのデータ処理を行いました。細かい数字の入力に悪戦苦闘していましたが、現場での計測位置を特定させるといふ実習を行いました。現場での計測

また、ヤクタネゴヨウ展示林で、測量器具を用い、苗木約三〇〇本の位置を特定させるといふ実習を行いました。現場での計測



鹿児島大学の企業体験 研修生を受け入れ

八月六日～八日の三日間、鹿児島大学農学部よりインターンシップ生受け入れの要請があり、当センターでは九名の学生を受け入れ、数班に分かれて治山や森林生態系の業務を体験しました。

は太陽が照りつけるなか一日半かけて行い体力勝負でしたが、二日目になると器具の取り扱いにも慣れて、効率よく計測をすすめることができました。計測終了後、半日かけて方眼紙上に苗木の実測位置図を描きました。机上での作業は緻密な計算と手作業を要しましたが、学生どうし交代しながら根気よく続けた結果、位置図を完成することができました。今後ヤクタネゴヨウを育成していくにあたり、基礎的な資料となります。そのほか雨量計のデータ回収等行いましたが、今年には、昨年に引き続きの受け入れで、当センターにとつても業務の手助けになり、学生にとつても今後の進路設計に少なからず役立つのではないかと感じています。

屋久島の植物



ヤンバルセンニンソリ
 きんぽうげ科

種子・屋久を分布の北限とするつる性植物。全体に無毛。葉は三出複葉、小葉は長卵形で、分厚くて光沢がある。葉の付け根から伸びた茎に、長さ一〇～一五mmで、四弁をもつ白い花を多数咲かせる。特に、多数の長い雄しべが目立って美しい。

夏休み期間中の山岳パトロールを実施

八月二十日にモツチョム岳（標高九四四m）のパトロールを行いました。登山道はところどころ倒木もありますが、よく整備されていて歩きやすく、遭難の心配は少ないです。千尋滝から頂上まで約三時間半、屋久島で最もきつい登山道と言われることもしばしば。健脚者向きです。途中、万代杉

やモツチョム太郎といった杉の巨木を楽しめます。また、八月二十七日には永田岳へのパトロールを実施しました。鹿之沢付近からあいにくの雨となり視界も悪くなりましたが、山頂では一時的に視界もひらけ栗生地区・宮之浦岳を望むことができました。鹿之沢小屋・登山道共にゴミはなく、登山者のマナーが向上しているのを感じました。

森林計画学会夏期セミナーが開催される

森林経理学の研究者などで組織される「森林計画学会」の平成一四年度夏期セミナーが八月二十一～二十三日屋久

町で開催され、国有林の貯木場や施業現場を見学したほか、森林管理署長から国有林の管理方針等についての講演を行いました。施業現場では普段は訪れることの少ない実際の作業現場を見学し、また、講演では「これからの屋久島の森林管理はどうあるべきと考えているか」、「森林計画への地元意見、合意形成はどのように」など、活発な質疑が行われました。なお、セミナーではヤクスギ自然館による屋久島の森と人との歴史についての講演、環境省屋久島自然保護官事務所による世界遺産としての自然保護への取り組みに関する講演も行われ、屋久島の森林管理を多面的に理解する有意義な機会となったとの声が聞かれました。

八月入場者数
 一九〇人
 白谷雲水峡

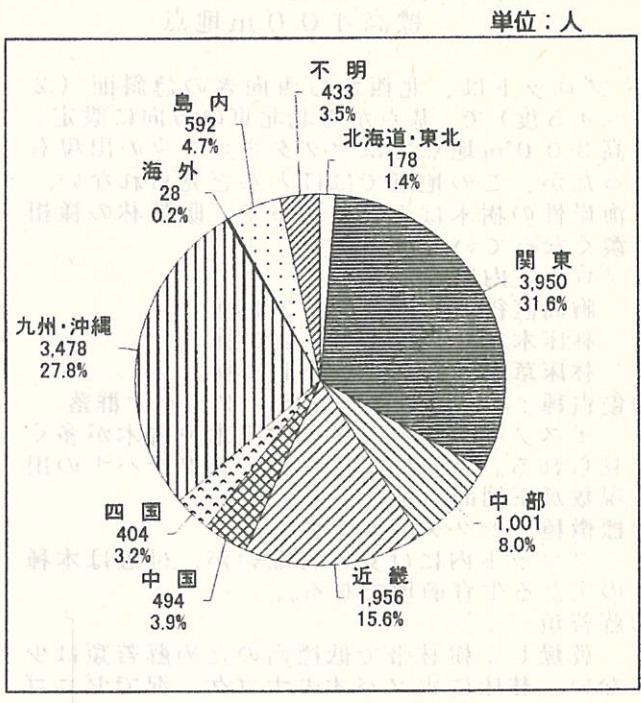
開園以来初めて月間入場者数が一万人を突破しました。

夏休み期間中の自然休養林の利用状況

今年の夏季シーズンの屋久島自然休養林の入林者数は、下記のとおりです。昨年と比べるとヤクスギランドが11%、白谷雲水峡が3%の増加となっています。

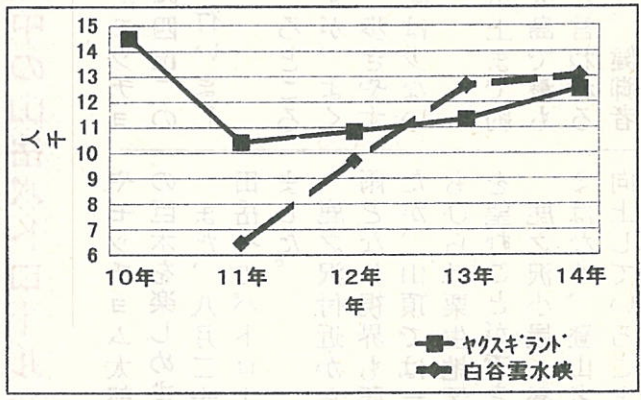
月	日	曜	ヤクスギランド			白谷雲水峡		
			入林者数	車両台数		入林者数	車両台数	
				バス	その他		バス	その他
7	20	土	423	11	84	257	1	100
	21	日	314	4	86	341	1	104
	22	月	266	6	60	264	1	80
	23	火	227	4	63	324	0	101
	24	水	201	7	65	287	2	75
	25	木	27	0	16	83	1	29
	26	金	83	1	36	76	0	30
	27	土	177	4	52	153	0	53
	28	日	182	2	71	242	0	87
	29	月	306	7	64	247	0	76
	30	火	311	8	56	304	2	93
	31	水	393	4	58	272	1	76
8	1	木	360	7	65	295	0	101
	2	金	292	6	71	237	0	95
	3	土	367	7	90	337	2	110
	4	日	371	7	63	328	2	102
	5	月	549	10	82	380	4	92
	6	火	273	4	71	308	0	92
	7	水	278	4	103	392	1	107
	8	木	260	6	64	297	0	90
	9	金	254	4	81	373	1	122
	10	土	328	5	87	381	1	108
	11	日	372	5	112	441	1	122
	12	月	337	3	100	469	1	130
	13	火	339	3	96	452	0	100
	14	水	330	3	129	387	1	120
	15	木	321	2	110	550	2	171
	16	金	306	2	111	426	0	160
	17	土	327	4	89	421	0	147
	18	日	296	3	100	377	1	118
	19	月	319	7	87	306	0	101
	20	火	284	4	82	302	0	0
	21	水	233	3	87	351	0	116
	22	木	728	15	101	340	2	90
	23	金	261	3	73	314	0	98
	24	土	376	6	83	438	1	137
	25	日	409	6	89	332	2	103
	26	月	250	5	93	309	0	107
	27	火	340	8	73	288	1	110
	28	水	307	7	51	328	0	116
	29	木	100	1	23	31	0	21
	30	金	37	0	0	0	0	0
	31	土	0	0	0	0	0	0
合	計		12,514	208	3,177	13,040	32	3,990

地方別入場者数



注) 白谷雲水峡の7月20日分の人数は除く。

過去5年間の夏休み期間中の入場者数の推移



	ヤクスギランド	白谷雲水峡	計
平成10年	14,513		14,513
平成11年	10,433	6,462	16,895
平成12年	10,838	9,705	20,543
平成13年	11,312	12,639	23,951
平成14年	12,514	13,040	25,554
計	59,610	41,846	101,456

注) 平成10年の白谷雲水峡は道路通行止めのため資料なし

- 注) 1 ヤクスギランドの調査時間は、午前9時～午後5時の間
- 2 白谷雲水峡の調査時間は、午前8時30分～午後5時の間
- 3 中学生以下の入場者数は調査除外
- 4 7月25～26日、8月29～31日は台風のため入場者数減